



## 駅の安全対策

### ホーム異常通報装置

お客さまがホームから線路上に転落された場合に、ホーム上に設置した非常通報ボタンを押すと、乗務員および駅係員に表示灯と警報ブザーで異常を知らせ、事故を未然に防止するために設けた装置で、京阪線13駅、大津線26駅に設置しています。



ホーム異常通報装置

### ホーム転落検知装置

線路のカーブがきつく電車とホームのすきまが広い駅において、列車が停車中にお客さまがホームから線路上に転落された場合、線路に敷設された検知マットにより検知し、乗務員および駅係員に異常を知らせるホーム転落検知装置を京阪線4駅、大津線1駅に設置しています。



ホーム転落検知装置

### ITV(工業用テレビジョン)装置

車掌が列車の扉を閉める際に、ホームにおけるお客さまの乗り降りの様子を確認するITV、エスカレーター・エレベータの乗降口を監視するITV等、駅構内のさまざまな場所にカメラを設置して、お客さまが安全に駅をご利用いただけるようにしています。

また最近、改札・券売機・乗越精算機にカメラを設置し、映像を常時記録することにより犯罪防止を図っており、順次増設を進めています。

### 戸閉合図装置

駅係員から車掌に列車の扉を閉める時機を知らせる装置で、京阪線12駅に設置されています。ラッシュ時やイベント開催の多客時等に使用され、扉開閉時の事故防止に役立っています。



戸閉合図装置(ホーム上屋に設置)

## 大津線の安全対策

### 併用軌道監視装置

大津線では、京津線(浜大津駅～上栄町駅約600m)および石山坂本線(浜大津駅～三井寺駅約400m)の一部が併用軌道(道路上に敷設された軌道)であり、交通渋滞、不法駐車等で電車の通行に支障を及ぼすことが多いため、道路監視用カメラ(11台)を設置し運転指令所でのモニターテレビ(10台)により電車の運行状況や道路状況を監視しています。

特に浜大津駅～三井寺駅間は夜間に駐車違反車で列車が通行不能になることがあり、指令所でモニターテレビを通して不法駐車をしよとする自動車を発見した場合、駐車違反である旨を放送装置により自動車のドライバーに告知して注意を促しています。



併用軌道監視モニターテレビ

### 限界支障検知装置

曲線半径200m以下の曲線部に設置しており、列車が何らかの障害で対向線路にはみ出し限界支障検知棒に接触したとき、特殊信号発光機を明滅させ、対向および後方列車に異常を知らせます。

京津線13カ所(検知棒78本、特殊信号発光機34機)、石山坂本線15カ所(検知棒102本、特殊信号発光機40機)に設置しています。

### 自動車侵入検知装置

三井寺の併用軌道(道路上に敷設された軌道)と専用軌道(専用の敷地内に敷設された軌道)の境界(三井寺併専用境界)付近は、道路構造上、夜間に自動車が誤侵入する可能性があります。三井寺併専用境界付近には、自動車侵入検知装置のほかにも大津線独自で作成したLED表示板および矢印灯で夜間、自動車のドライバーに注意を促して誤侵入防止に努めています。



三井寺併専用境界